

【BMS 専攻シラバス】(案)

授業科目名	シグナル伝達特論				授 業 形 式	講義
配 当 年 次	修士 1 年次	単 位 数	2 単位=30 時間		選 択 ・ 必 修	選択必修
コーディネータ	中村 俊 一	曜日・時限	前期 月曜日 17:00～19:00			
担当分野名	膜生物学、分子細胞生物学、神経情報伝達学、膜動態学、シグナル伝達学、生化学					
担当教員名	足立直子、伊集院 壮、岡田 太郎、梶本 武利、齋藤 尚亮、匂坂 敏朗、辻田 和也、中村 俊一、西尾 美希、前濱 朝彦、向井 秀幸、力武 良行					
学習到達目標	細胞内シグナル伝達を理解し、分子レベルで生命現象及びその病態への理解を深める。					
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者
	1)	4/8 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	スフィンゴ脂質を介するシグナル伝達 Cell signaling through sphingolipids	中村 Nakamura
	2)	4/15 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	細胞内シグナル伝達の基本的機構 Basics of Intracellular Signal Transduction	岡田 Okada
	3)	4/22 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	リン脂質による骨格筋機能制御と病態 Skeletal muscle function is under control of phospholipids	伊集院 Ijuin
	4)	5/13 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	リン酸化酵素を介するシグナル伝達 Cell signaling through protein kinases	梶本 kajimoto
	5)	5/20 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	低分子量 G 蛋白質を介するシグナル伝達 Small GTPase-mediated signal transduction	力武 Rikitake
	6)	5/27 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	PKC の機能と病態との関連 Physiological roles of PKC and its involvement in diseases	齋藤 Saito
	7)	6/3 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	βアドレナリン受容体の機能と疾患 Physiological and pathological roles of β adrenergic receptors	足立 Adachi
	8)	6/10 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	がん転移の情報伝達 Signal transduction in cancer metastasis	向井 Mukai
	9)	6/17 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	がん細胞の運動とシグナル伝達 Cancer cell migration and signal transduction	辻田 Tsujita
	10)	6/24 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	小胞輸送によるシグナル伝達 (1) Vesicle transport dependent signal transduction (1)	匂坂 Sakisaka
	11)	7/1 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	小胞輸送によるシグナル伝達 (2) Vesicle transport dependent signal transduction (2)	匂坂 Sakisaka
	12)	7/8 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	PI3K シグナルと発がん PI3K signaling in cancer	前濱 Maehama
	13)	7/22 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	Hippo シグナルによる生体制御 Role of Hippo signaling pathway in vivo	西尾 Nishio
	14)	7/29 (月)	17:00 ～ 19:00	第 2 講堂	細胞間情報伝達:エキソソーム Intercellular communication: exosomes	中村 Nakamura
履修上の注意	準備学習・復習については授業中に追って指示する。					
参 考 書	参考書や参考資料等に関する情報は授業中に別途指示する。					
成績評価方法と基準	講義への出席状況およびレポート提出により総合的に評価し、評価が60点以上となったものを合格とする。また、授業時間内に小テストを行う時はその結果も評価に加える。評価の目安は、講義の内容を十分に理解して知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を“優”，その中でもさらに優れたものについては“秀”，講義の内容はよく理解したが、積極性が十分でないとは判断できる場合を“良”，講義内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を“可”とする。					
備 考	(メールアドレス) snakamur@kobe-u.ac.jp (オフィスアワー) 中村俊一 (月曜日、火曜日 14:00～17:00)					